

Japan Cloud Adoption Trends and Strategies (Japanese Version with Key English Language Reports)

国内市場ではクラウドは広く普及し、ユーザー企業の関心もクラウドの新規導入や利用拡大による IT/業務の効率化から、クラウドの高度活用へと変化しています。クラウドの高度利用には、利用中のクラウドの最適化と、デジタルトランスフォーメーション (DX) / データ駆動型ビジネスの促進があり、ベンダーへの期待も変化しています。また、現在、高い関心を集める Generative AI (生成系 AI) の稼働環境としてもクラウドには高い期待が寄せられています。すでに、ほとんどのベンダーがユーザー企業のクラウドの高度活用を支援する事業を強化しています。さらにベンダー各社は、Generative AI に関わる取り組みを加速しており、ユーザー企業の生産性向上やイノベーションの支援を強化しています。一方、クラウドマイグレーションや最適化支援では方法論が整備され、ベンダー間の差別化が困難となっています。IDC Japan 年間情報提供サービス「Japan Cloud Adoption Trends and Strategies (Japanese Version with Key English Language Reports)」では、年間を通じて国内クラウド市場の調査、分析を行います。本サービスではクラウドをサービスモデルや配備モデルに区分して市場調査を実施し、クラウド市場において成功するための情報を提供いたします。2025 年は、Generative AI などの技術発展が、国内クラウド市場に与える影響の分析を強化します。

MARKETS AND SUBJECTS ANALYZED

- サービスモデル別市場規模および予測 (アプリケーション、プラットフォーム、インフラストラクチャ)
- 配備モデル別市場規模および予測 (パブリッククラウド、プライベートクラウド)
- 技術トレンドの調査
- エンドユーザー調査
- ベンダーの競合分析
- クラウドや DX が IT 市場に与える影響の調査

CORE RESEARCH

- 国内パブリッククラウド市場予測
- 国内プライベートクラウド市場予測
- 国内クラウド市場：用途別市場予測
- 国内クラウド市場：需要動向調査
- 国内クラウド市場：ベンダーのビジネス動向分析
- IDC FutureScope: Worldwide Cloud 2025 Predictions - Japan Implications

上記リサーチは市場環境などの変化に応じて変更される可能性があります。発行レポートをご覧になりたい場合は以下 Web サイトをご参照ください。: [Japan Cloud Adoption Trends and Strategies \(Japanese Version with Key English Language Reports\)](#).

KEY QUESTIONS ANSWERED

- クラウドベンダーにとってのビジネス機会はどこにあるのか？
- クラウド事業を成功に導く要素は何か？
- ユーザーニーズや投資動向の変化にクラウドベンダーはどのように対応すべきか？
- どのようなサービスセグメントやビジネスモデルが最も高い成長を遂げるのか？
- 技術の発展やユーザーの利活用の変化が、クラウドに与える影響は？
- リーディングベンダーはどのような戦略でビジネスの拡大を図っているのか？

COMPANIES ANALYZED

IDC では、次のベンダーの企業戦略、競合状況などの比較/分析を行います (アルファベット順、50 音順)。

AWS、BIPROGY、Broadcom、IBM、KDDI、NEC、Nutanix、NRI、シスコシステムズ、ソフトバンク、日立製作所、富士通、マイクロ
NTT グループ、Salesforce、SAP、SCSK、TIS、アクセンチュア、伊藤 ソフト、その他
忠テクノソリューションズ、オラクル、キンドリル、グーグル、